

教育・保育理念
 ・自分も友だちも大切にする心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力の発揮

令和7年度 重点内容
 ・主体的に遊べる環境作り
 ・安心して居心地のよい環境作り
 ・小学校と連携し、学びと育ちをつなげる
 ・地域とのつながりを深める
 ・職員の資質向上をめざす

園の重点項目
 ・こどもたち一人ひとりを大事にし安全安心な生活の中で主体的に環境と関わり夢中になって遊べるようにする

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	評価	自己評価	評価	こども園関係者評価
主体的に遊べる環境作り	こどもが主体的に遊べる環境を学び実践する	・こどもの姿や発達過程に応じ、多様な環境づくりを行う	A	・こどもが興味をもち「やってみたい」と思う環境を整え、一人ひとりに応じた関わりで発達を促してきた。 ・職員間で話し合い、生活の動線やコーナーあそびの構成、視覚的掲示を見直し、生活に見通しが持てる環境の再構成を行ってきた。 ・教育保育のねらいをもとに取り組み内容をわかりやすく記述し、こどもの成長を保護者と共に喜び合うことができた。 ・こどもの興味や関心、実体験したことからあそびを考え、こどもの言葉のやりとりを大事に表現することを楽しみ、達成感が味えるようにしてきた。「作って遊ぼう」では買いい物ごっこを友だちや異年齢でやり取りしながら楽しめた。季節が感じられ五感を刺激するあそびを多く取り入れて感性や認識力を育んできた。菜園活動では友だちと生長の喜びや発見を共有し、収穫物を味わうことで食への関心が高めることができた。また、描画や制作などは繰り返し楽しむ中で満足感を味わい自信につながる関わりを大事にできた。	A	・主体的にあそべる環境づくりに関しては、各クラスにてお店づくりをし、お土産さんごっこを楽しむ等家庭ではできないあそびを企画してもらっていることに感激しました。 ・一つの事柄からこどもたちの興味や関心を広げていることがよくわかりました。 ・子どもたちの意欲や関心が高まる取り組みを各年齢発達に合わせて考えられていた。 ・保育教諭の思いや願い、ねらいをしっかりと持ち日々取り組まれていることが感じられた。 ・植物や生き物を育てることを通じてこどもたちの心を育てる取り組みが様々な場面で取り入れられて主体的に取り組めるよう考えられていた。
		・環境の実践を通してこどもの姿や関わり方の振り返りを行いながら教育・保育につなげていく	A			
	こどもの興味や関心・気づきなど数値化しにくい成長を可視化する	・主体的に遊ぶ教育・保育の取り組みを可視化して、キッズビュウのドキュメンテーションや写真掲載、フォトフレーム等を通じて保護者に知らせ、こどもの成長を共感し合う	A			
	こどもの興味や関心、発達、季節に応じた環境の中で、友だちと一緒に身体を動かし、遊び、楽しみを感じられるようにする。	・キッズビュウのドキュメンテーションやフォトニュース、週日案の作成を通じて振り返り、こどもの気づきや遊びを工夫する姿などを感じとり、職員間で共有する	A			
	・全身や指先を使った遊びを十分に楽しみ、達成感を味わえる取り組みを工夫する	A				
安心して居心地のよい環境	自己肯定感が感じられるような場の設定や保育教諭の関わりをおこなう	・自然とのふれあいや実体験を大切に、生活や遊びの中で学びに向かう芽を育てる	A	・0歳児で育児担当制を行い、保育教諭との愛着関係を築いてきた。信頼関係へと広げて友だちとの心地よい関わりを積み重ね、一緒に遊んで楽しいという気持ちを育んできた。 ・計画的に異年齢で運動やあそびを楽しむことで関わりが広がり、憧れや思いやりの気持ちが育った。 ・友だちとの関わりを振り返って考えたり、友だちのよさを話し合う時間を作り、一人ひとりの違いやよさを認めあい、自尊感情を育ててきた。 ・健康な生活が送れるよう、毎月保健や栄養のポスターを掲示し、看護師や栄養士が指導を行い、調理担当も喫食状況を見て回る等こどもたちと交流しながら働きかけをしてきた。育児講座「命の授業」には5歳児も参加し、模擬体験で生命の大切さを知ることができた。 ・クラス懇談会や個人懇談を通して、園でのこどもの姿、個別の課題や手立てを保護者に知らせ、生活習慣の定着を家庭と連携して行ってきた。	A	・毎日、こどもたちの活動記録配信や担任からの報告によってこどもたちの状況を把握できるようになっていると思います。また、友だちとのトラブル時もすばやく対応してもらい感謝しています。 ・大人同士のコミュニケーションをとりながらこどもたちに関わっているのがよくわかりました。 ・見えない給食室での調理が見えるように工夫されていると思いました。 ・こどもたち一人ひとりに寄り添い各年齢に合わせた取り組みがされていた。 ・こどもたち自身の思いや友だちの思いを大切に取組まれている。 ・食育や保健もしっかりと考えて取組まれていた。
		・季節を感じ、生活を豊かにする取り組みや、成長を喜び合う行事を行う	A			
		・生活や遊びの中で、言葉のやりとりを通じて、豊かな言葉の表現を養う。	A			
	・心動かす出来事に触れながら、描画や音、動きで感性豊かに表現することを喜ぶ実践を展開する	A				
	家庭と連携し、基本的な生活習慣の定着を図る	・一人ひとりの家庭状況や発達状況を理解し、保護者の気持ちに寄り添いながら子どもが基本的な生活習慣を身につけ、安心して心地よく過ごせるようにする	B			
・健康で安全な生活が送れるように環境を整えたり、生命の大切さを伝えたりして、安全教育を行う	A					
ちこ小をつつ学校とを育つ	小学校との連携を密にし、つながりを深めていく	・小学校の施設の利用、参観、わくわく広場、おたより交流などを通じてつながりを深めたり、教員との意見交流などの連携を通し、教育・保育の質の向上を図る	B	・浜寺石津小学校に散歩に行き、就学前に学校に慣れるようにでき、5歳児は1年生との「わくわくランド」に参加した。こどもが安心して就学できるよう保護者と懇談してこどもの育ちを小学校につなげている。また、小学校との架け橋期の研修に職員が参加し、他教育保育施設とも交流して接続への検討を行っている。	A	・小学校にあそびに行き、就学前に学校に慣れるようにする点が良いと思います。 ・小学校もこどもたちとの交流に加え保育教諭との交流ができるように取組めたらと感じました。
		・乳幼児につけたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し、一人ひとりの園児の育ちについて、小学校と情報の共有をし、円滑な接続につなげる	A			
地域を深めるつながり	園庭開放などを通して遊びの場の提供や子育て情報を発信し、地域の保護者とつながっていく	・地域の子育て関係機関と連携し、こども園としての役割を果たすと共に、交流を深めたり園庭開放、ほっと預かり、リフレッシュ預かりなどを通して地域の保護者とつながっていく	A	・園庭開放に来る地域の親子は少ないが、園庭でこどもたちと交流して過ごしたり園の様子を見てもらうことはできた。家庭支援担当が地域のサロンに出かけ親子と触れ合い相談などに応じている。 ・今年度も合同避難訓練が地域の方や警察の協力を得て実施でき、5歳児の3園交流も計画通り実施できた。 ・5歳児は例年のいきいきサロン交流や地域の老人介護施設へも交流で出かけよい体験ができた。	A	・散歩による地域の方と交流や合同避難訓練で避難施設に向かう等地域との連携をされている点が評価できます。 ・ここにお広場やいきいきサロンに参加する交流は双方に良いと思います。 ・地域の方との交流を深めることにより、自尊感情の醸成に努められている。 ・5歳児の3園交流等他園との交流を行うことで、こどもの気づきが増える場の設定がされていると感じました。
		職場体験や3園交流、地域との交流をすすめる	・散歩先で出会う地域の方との関りを大切にしたり、地域の関係者や団体と連携を図りながら防災訓練に参加したり、地域と共に子育てをすすめる			
	いきいきサロン・地域の老人介護施設と交流し、地域の方々との関わりを深める	A				
め質職を向上を資	職員一人ひとりが教育・保育内容の向上を目指し、お互いに学び合う姿勢をもつ	・自己評価を通して、教育・保育を振り返り、自己研鑽を積極的に行う	A	・職員は自己評価、各種研修で自己研鑽してきた。園内公開保育での実践報告を行い意見交流し各クラスの教育保育内容を振り返り、今後の課題等を検討した。	A	・客観的評価だけでなく自己評価がある点が良い。 ・園内研修を通して全職員が研鑽されている。若手育成だけでなく職員間のコミュニケーションを大切にしながら取組まれている。
		・公開保育や研修、研究授業に積極的に参加し、学びを深めるとともに専門性を高める	A			

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
異年齢で交流し主体的に遊べる環境づくり	・視覚支援教材やわかりやすい掲示を工夫して生活やあそびに見通しが持てる環境づくりを行う。 ・クラス保育と共に異年齢での育ちも見据えながら年間を通して全体で計画的に取り組めるよう話し合い進めていく。
小学校や地域の施設と交流しこどもの育ちを促し地域の中で育つ意識を大事にする	・小学校との接続連携は年度初めに計画(案)を提案し園での様子を見学してもらう等の教員交流を進めていく。 ・地域の施設を見たり挨拶を交わす中で、地域の人との関わりが心地よいと感じられ、様々な交流やつながりを構築していく。

園長より
 ひとり一人の育ちを保護者の方と懇談会等で共有して自尊感情を育むことを大切に、安全な環境の中でこどもが主体的に活動できる取り組みを工夫してきました。次年度においては職員連携のもとで教育・保育の可視化に努め、異年齢交流、小学校や地域交流の充実を図りたいと考えています。